

遊びの中の英語活動～高学年編～

河野 登貴子
(旭川市立向陵小学校)

準備: 曜日カード(提示用大カード一組、児童用小カードを人数分組)、カレンダープリント、サイコロ、コマ、スケジュールカード、鉛筆

人数: クラス全員

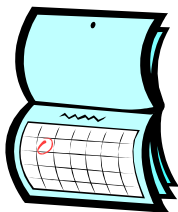
言語材料: Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday,
What day is it today? Can you play on Monday?

1 Warm up : Song “Sunday, Monday, Tuesday”
初めは歌うだけですが、慣れてきたらジェスチャーをつけたり、一つ抜いた曜日のところで手を叩いたりして変化をつける。

2 In take : Game “1週間を揃えよう。”
児童はそれぞれ四枚の異なる曜日のカードを持っている。一週間の中で足りない曜日のカードをもらうため友達とジャンケンをして、勝ったら“Do you have Wednesday?”と尋ねる。相手はそのカードがあれば“Yes. Here you are.”と渡す。なければ“No. Sorry.”と言って別れる。早く7枚揃えた者が勝ち。

Game “カレンダーすごろく”

3～4グループの対抗戦。最初のチームがサイコロを振り、出た目の数だけ進む。他のチームは“What day is it today?”と尋ねる。コマを進めたチームは“It's Monday.”などと答える。同じように他のグループも行い、早く次の月まで行ったグループが勝ち。祝日に止まったら、“Holiday!”と言って1回休みになる。クラス全体で行ってもよい。



Game “遊べる友達を集めよう。”

児童は各自のスケジュールカードの中の遊べる曜日4日を自由に選んで丸印をつける。さらにその中で自分が一番遊びたい日を1日選んで二重丸にする。相手のスケジュールを聞き、自分が遊びたい曜日が相手の遊べる曜日であれば、相手の名前をカードに記入することができる。制限時間内にたくさんの遊べる友達を集めた者が勝ち。



< Model > A: Hi, Toshi. Can you play on Tuesday?
B: Yes. I can play! (AはBの名前をカードに書く)
B: Well, Taka, can you play on Friday?
A: No, I can't. Sorry. (Bは記名できない。)

「ねえ、土曜日は一緒に遊べる?」「うん、遊べる!」「ごめん、遊べない。出かけるんだ。」
子どもの日常生活でよく聞く会話です。失敗を恐れずにどんどん英語を使って、自分から友達とコミュニケーションをとる楽しさを感じてほしいと願い、この表現を取り入れて授業を組み立てました。ぜひ試行してみてください。